

令和 3 年度使用  
中学校用教科用図書研究資料（総評）

【社会（歴史）】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東京書籍	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、単元を貫く課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化されている。</p> <p>また、見開きで学習課題が設定され、「歴史にアクセス」コーナーなどで追究し、最後に、学習内容の定着を図る「チェック＆トライ」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、学習したことを確認できる「基礎・基本のまとめ」、歴史の学習に必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために「思考ツール」を活用してまとめたり、コラム「もっと歴史」で思考を深めたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、二次元バーコードを読み取り、デジタル資料を活用できるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、ページ下の「チェック＆トライ」で学習内容を振り返ったあとに、数ページ先の「探究のステップ」のページに取り組めるなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 事象間の因果関係について考察する力を身に付けるために、「見方・考え方」や「読み取る」コーナーで、情報を集め、読み取り、まとめる活動ができる工夫が見られる。</p> <p>また、各時代の大まかな特色を理解する力を身に付けるために、資料の読み取りで各時代の理解を深める特設ページ「資料から発見！」を設定する工夫が見られる。</p>	<p>P98～147</p> <p>P136～137</p> <p>P144</p> <p>P89</p> <p>P61</p> <p>P54～55</p> <p>P51</p> <p>P215</p> <p>P84～85</p> <p>P138～139</p>
17 教育出版	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、学習のテーマをつかむ導入ページ、本時ページとそれに関連した特設ページ、学習のまとめと表現ページとなっている。</p> <p>また、見開きで学習課題が設定され、キャラクターの吹き出し内容などを基に追究し、最後に、学習内容を深める「確認！」「表現！」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、節の学習を振り返るための課題を設けたり、資料内容を読み取る「読み解こう」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、多面的に考察できる「歴史の窓」や学習を振り返る「学習のまとめと表現」を設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、見開き中の「時代スケール」に色付けをするなどの工夫が見られる。</p> <p>また、小学校の学習を振り返るとともに、学習内容の関連性・系統性を示したり、インターネットを活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 事象間の因果関係について考察する力を身に付けるために、特設コーナー「歴史の窓」で、歴史的事象の背景や影響などをより深く学習できる工夫が見られる。</p> <p>また、各時代の大まかな特色を理解する力を身に付けるために、章の導入に、資料の読み解きを通してこれから学習する時代が概観できる「学習を始めよう」を設定する工夫が見られる。</p>	<p>P145～206</p> <p>P148～149</p> <p>P101、105</p> <p>P161</p> <p>P204～205</p> <p>P156</p> <p>P3</p> <p>P59</p> <p>P273</p> <p>P60～61</p>

発行者	総 評	備考
46 帝国書院	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、章・節・見開きごとに問いと振り返りの学習を設け、それを積み重ねて章の問いを追究していくことができるようになっている。 また、見開きで学習課題が設定され、「年代インデックス」で時代を確認しながら追究し、読解力等の育成を促す「確認しよう」「説明しよう」に取り組める構成・配列の工夫が見られる。	P94～147 P94～95
	(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、「第○節の問いを振り返ろう」や、基礎的な技能を身に付けるための「技能をみがく」を設けたりするなどの工夫が見られる。 また、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習内容を深め、言語活動を促す「多面的・多角的に考えてみよう」を設けるなどの工夫が見られる。	P101 P37 P188
	(3) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、章の初めに、時代をイメージできる大判のイラストを用いるなどの工夫が見られる。 また、地図などの図版は、記号等が明瞭で、読み取りやすい配慮がなされていたり、動画などのコンテンツ資料を活用した学習が行えたりするなどの工夫が見られる。	P58～59 P99 P60
	(4) 事象間の因果関係について考察する力を身に付けるために、その時代に栄えた文化の社会的背景や因果関係が、明確にわかるようなタイトルや資料選択の工夫が見られる。 また、各時代の大まかな特色を理解する力を身に付けるために、節の冒頭に各時代の特色を視覚的に捉え、小学校との関連を意識させる「タイムトラベル」を設定する工夫が見られる。	P138～141 P80～81
81 山川出版社	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入（日本史と世界史の帯年表）ページ、本文ページ、書き込み式のまとめページとなっている。 また、見開きで学習課題が設定され、本文やコラム、用語解説などで追究し、最後に、学習内容の定着を深める「ステップアップ」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。	P102～153 P164～165
	(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、歴史を学ぶ基礎知識を「歴史との対話」で設けたり、同時代の日本と世界を捉える「○○世紀の世界」を設けたりするなどの工夫が見られる。 また、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各単元の導入の発問や図版のそばに設けた発問などで、自ら考えさせるための工夫が見られる。	P5～13 P110～111 P85
	(3) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、用語解説のコーナーで、難解な用語を解説するなどの工夫が見られる。 また、小学校との接続に配慮した「歴史を大きく変えた人物」を設けたり、博物館等のホームページサイトや動画を活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。	P55 P7 P134、P235
	(4) 事象間の因果関係について考察する力を身に付けるために、資料を読み取る際の視点を明確にする「発問」をつけることで、歴史的事象の背景や影響にせまる工夫が見られる。 また、各時代の大まかな特色を理解する力を身に付けるために、各章の扉に一目で各時代の日本と世界の大きな流れが理解できる「帯年表」を取り入れる工夫が見られる。	P138～139 P154～155

発行者	総 評	備考
116 日本文教出版	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、編の構成は、導入ページ、本文、チャレンジ歴史、本文、学習を振り返るまとめページとなっている。</p> <p>また、見開きで学習課題が設定され、手がかりとなる「見方・考え方」などを基に追究し、最後に、学習内容の理解を確かめる「確認」コーナーに取り組める構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、「スキルアップ」で、調べ学習のポイントなどを身に付けたり、巻末の歴史学習の基礎資料ページを活用したりできるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「先人に学ぶ」「女性史コラム」等を掲載し、人物の偉業と現在とのつながりを意識できる工夫が見られる。</p> <p>(3) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、各単元の見出しやインデックス、ページを示す箇所の色を統一するなどの工夫が見られる。</p> <p>また、巻頭で既習の人物や文化遺産を振り返るとともに、QRコードを読み込んで、デジタルコンテンツ資料を活用した学習を行うなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 事象間の因果関係について考察する力を身に付けるために、資料と関連する問いを設け、歴史的事象の背景を捉える「見方・考え方」や「深めよう」のコーナーを設定する工夫が見られる。</p> <p>また、各時代の大まかな特色を理解する力を身に付けるために、学習の流れに沿って、資料をもとに時代の変化を主体的につかむ「チャレンジ歴史」を設定する工夫が見られる。</p>	<p>P64～105</p> <p>P68～69</p> <p>P41</p> <p>P131、P213</p> <p>P143</p> <p>P6～7 P32</p> <p>P72～73</p> <p>P74～75</p>
227 育鵬社	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、各章の学習のまとめのページという流れになっている。</p> <p>また、見開きで学習課題が設定され、写真や表・グラフ・コラムなどで追究し、最後に、レポートや論述などでまとめる「学習のまとめ」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、歴史の流れ、年代の表し方や、「歴史ワクワク隊・6つの心得」で、歴史の学び方を示すなど、学習に必要なことを学ぶための工夫が見られる。</p> <p>また、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「歴史新聞をつくろう」や「日本の歴史を大観する」の頁で、自分の言葉で表現するなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、部分的に拡大したり、読み取るための視点を示したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>また、小学校で学んだ人物等を掲載して既習事項との関連を図ったり、イラストで描かれた「歴史絵巻」で歴史の大きな流れを捉えたりできるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 事象間の因果関係について考察する力を身に付けるために、章末に「歴史のターニングポイント」を設定し、歴史的事象について複数の資料を読み取り、表現させる工夫が見られる。</p> <p>また、各時代の大まかな特色を理解する力を身に付けるために、時代の特色をとらえ、自分なりに表現する「私の歴史博物館をデザインしてみよう」を設定する工夫が見られる。</p>	<p>P103～154</p> <p>P226～227</p> <p>P12～18</p> <p>P290～293</p> <p>P31</p> <p>P8～9 P20～21</p> <p>P64</p> <p>P65</p>

